

議事要旨	
名 称	第2期かかみがはらスポーツ推進計画策定委員会（第3回）
開催日時	令和7年2月14日 13時30分～14時30分
開催場所	各務原市産業文化センター4階 西ライフデザインセンター第2学習室
出席者	委員長及び委員 北角浩一副委員長（委員長代理）、横山浩之副委員長、三村武俊委員、 足立可彦委員、杉山正明委員、今尾謙二委員、大矢貢委員、丹羽章委員 事務局 各務原市教育委員会事務局、各務原市教育委員会事務局スポーツ課 委託業者 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
欠席者	有川一委員長、中野正勝委員
次第	1 開会 2 現行計画の振り返り 3 各委員の意見共有 4 次回予定
1 開会 【事務局】 （1）有川委員長欠席のため、要綱により北角副委員長を委員長代理として会議を進めることを報告 【北角副委員長（委員長代理）】 （2）各務原市附属機関設置条例により、本会議が有効に成立していることを報告 （3）傍聴希望者が0名であることを報告 （4）開会のあいさつ	
2 現行計画の振り返り 【事務局】 現行計画の振り返りを説明	
3 各委員の意見共有 （1）次期計画案全般に関する意見 ・前回策定員資料（素案）と異なる意見が多く出てきたと感じた。もう少し各委員の意見をまとめたうえでの計画策定が必要と思う。 （2）子どものスポーツに関する意見 ・子どもの傾向について、「(スポーツ・勉強を) する子・しない子」が分かれる「二極化」が進んできたと感じている。 ・学校としては、体育授業で運動の楽しさを提供していくという役割があるが、保護者の方々は、運動をしている方としない方がはっきりしているおり、余暇の過ごし方が変わってきていると感じる。 ・小学校の福祉の授業で車椅子バスケットボールの選手に来てもらっている。親も子どもと一緒に見学してもいいのでは、学校側も呼び込んではどうかと思う。	

- ・スポーツをしない子どもが多い中で、子どもを引き寄せるには、スポーツの魅力を発信しないといけない。これは、スポーツ協会だけ・教育委員会だけで行っても効果が無い。各種目団体が尽力しないと結果は出てこない。
- ・障がい者の方々に対して、各種目団体がフォローし、レクリエーション協会を巻き込んで、障がい者協会と連携をとりつつ、スポーツを行う環境を作っていないと、スポーツ全体として活気が出ないのかなと思う。
- ・スポーツ推進計画を進めていくときに、できるだけ多くの人がスポーツの魅力を感じて集う、そこに子ども達関わっていくと良いのではないかなと思う。

(3) 高齢者のスポーツに関する意見

- ・シニアクラブの方は、スポーツをやりたくても交通手段がなく、開催場所に行くだけでも大変である。高齢者は何を行うにも交通手段の問題がある。

(4) 障がい者のスポーツに関する意見

- ・障がい者の団体について、15～16あった団体が高齢化により半数が解散し、現存している団体も後継者が見つからない状況であった。さらにコロナ禍により、障がい者が外に出る機会が全く無くなってしまった。
- ・障がい者が身体を動かす機会がほとんどなく、一般的なスポーツは障がい者には難しい。簡易な体操などの身体を動かす機会を設けるということを次期計画に加えてほしい。
- ・パラリンピックのような上級のテーマより、もう少しレベルの低い、普段動かしていない身体を動かせるような環境を作り、障がい者は障がい者なりに少しでも身体を動かせる体制・場所を今後作ってもらえるとありがたいと思う。

(5) 現行計画及び次期計画に関する意見

- ・机上論・理想論が先行して、現実論ができておらず、10年経過した現時点で振り返ってみれば目立った成果がなかったというのが現実だと思う。
- ・指導者の育成について、スポーツ協会の各種目団体の考え方、学校教育と足並みがそろっておらず、今でも無資格者が子どもの指導を行っている。
- ・スポーツを行う目的・主旨が世代・立場（児童・生徒・学生・社会人・障がいの有無）ごとに異なるのでまとめた方がいいのかなと思う。「二極化」の話もあったが、小学校時に「二極化」が無い状態でスタートした中で、中学校・高校・大学と進む中でスポーツを続ける理由は「楽しくスポーツをやりたい」ということになると思うが、各カテゴリでコンセプトをまとめると、様々なことに進みやすくなると思う。

(6) スポーツによる健康の維持増進に関する意見

- ・コロナ禍において、スポーツの実施・大会の開催・スポーツクラブ等のエンターテインメント、地域コミュニティとしてのスポーツが制限されたが、健康増進に関する個別の運動（ウォーキング等）は大きな制限を受けなかったと思う。大学の教職員に対する調査でも同じ傾向が見られ、異なる集団でも同じ傾向にあったと思われる。

(7) 広報に関する意見

- ・周りの人たちを見ていると、広報誌を読んでいないと感じる。広報誌を全部読むとイベントの情報等分かるのだが、周知の方法を考えないといけない。
- ・教育委員会全体として、SNSをふんだんに利用できるような、活用した発信による助力を頂きたい。

(8) 次期計画の数値目標に関する意見

- ・施設の利用満足度については、現状では取る必要はないと思う。施設が整備されている途中でアンケートを取ったところで、有用なデータとはならないと思う。
- ・全国大会・国際大会の参加者数については、各種目団体が注力できていない結果である。各種目団体には、強く発信をさせて頂いて、取り組まないと今後の発展性がないということを出させていたかどうかと思う。
- ・スポーツ人口が増えることは良いことであり、スポーツ課でも色々な取組みを推進していただきたいと思うが、市単独の取り組みで目標数値を上げるのは難しいと思う。

(9) 市の施策に関する意見

- ・ふとしたきっかけでスポーツを始める方もたくさんいらっしゃるし、スポーツをしたいという人がのびのびスポーツをできる環境を整えていく必要があると思う。
- ・バーチャルなコミュニティや市全体でウォーキング等に取り組む時間帯を設定するのも面白いと思う。

4 次回予定

具体的施策・事業の提示、素案の作成を行う。次回策定委員会は4月中旬以降。計画の策定は6月末～7月初頭としたい。次回策定委員会前に各委員に対して訪問ヒアリングをさせていただきたい。